

秋田県産業資源循環協会の 対応の振り返りと課題

7月の大雨 災害廃棄物処理
協会の初期の対応について

一般社団法人
秋田県産業資源循環協会

秋田市災害廃棄物 協会の初期の対応

7月17日(月) 県から第一報

11:50

- ・五城目町から「災害廃棄物処理協定」に基づく要請が入ります。
- ・秋田市から仮置場の管理等をお願いするかもしれないです。

以上のことから、協会で「備える」よう電話で伝えられた。

15:00

協定に基づく要請を受けることを決める

(協会の会長と中央支部長に連絡を入れ、了解を得る。)

- ・五城目町については、
 - 昨年同様、ユナイテッド計画を指名し対応する。
- ・秋田市については、
 - 要請内容を見てから(指名会社を)決定する。
(最終的に、JV4社を指名し対応)

7月21日に全役員の了解を得る文書を発送した。

7月18日(火) 広面近隣公園仮置場の状況を確認

9:30



管理人いない 看板小さい 泥だらけ 勝手に置いてる



ゴミ集積所に山積状態



7月19日(水) 秋田市との打合せ(依頼を受ける)

15:00

出席者 秋田市3名、環境省3名、横浜市1名、秋田県2名
協会4名(ユナイテッド計画社長(中央支部長)他3)

＜秋田市からの依頼内容＞

- ①旧秋田空港跡地(二次仮置場)の管理運営
- ②旧秋田空港跡地から市総合環境センターへの収集運搬
- ③仮置場から旧秋田空港跡地への収集運搬
- ④旧秋田空港跡地の災害廃棄物の処分
→ 了解と口頭で伝える。

7月20日(木) 協会打合せ(秋田市依頼に対する協会体制)

14:00

ユナイテッド計画、山岡工業、豊興産、高島興業の4社でJVを
組み対応することを決めた。

17:30

秋田市との打合せ(要望内容の変更)

- ③はなくなり、
- ④は秋田市で処分不可能なものを協会処理する
に変更

7月21日(金)

10:00

秋田市から電話(追加要請)

22日(土)、23日(日)に、市内仮置場5か所から旧秋田空港跡地まで搬送するので、車両と作業員の手配をお願いしたい。

<5か所の仮置場>

大住小学校

潟中島街区第2公園

広面鬼塚街区公園

東通拠点第1街区公園

御野場南部街区公園

秋田市内にはもう一か所仮置場(広面近隣公園)があるが、自衛隊が搬出作業を担っている。

14:00

協会打合せ(電話作戦)

JV4社が集まり、土日の車両と作業員の手配を行う。

→ 車両は16~18台が手配できたが、作業員は集まらず。

17:30

秋田市との打合せ(土日の作業について)

協会では、16~18台の車両と運転手は出せるが、作業員を多く出すことは不可能と伝えた。

→ ボランティアの方々が積込作業を

手伝ってもらうこととなった。

7月22日(土)

～

7月23日(日)

御所野南部街区公園仮置場で積込搬出作業

車両3台＋ボランティア15名＋市職員3名



7月23日搬出完了

大住小学校仮置場で積込搬出作業

車両19台＋ボランティア30名＋市職員



7月23日搬出完了

7月23日(日)

10:00

旧秋田空港跡地（この時点では、秋田市が管理運営）
現場の状況を確認し、協会管理運営の準備を行う
一部の廃棄物をローダーにより整理を行っている



7月24日(月)

10:30

協会打合せ(電話作戦)

火曜の車両手配(9社から車と人を出せる)

→ 火曜から広面鬼頭街区公園仮置場の作業着手する

16:00

JV4社打合せ 旧秋田空港跡地の管理運営体制について

17:30

秋田市との打合せ(追加要請)

広面近隣公園仮置場の作業を自衛隊が行っているが、
撤退後の作業を協会にお願いしたい。

(自衛隊からは「緊急」「災害」「衛生確保」から撤退との説明あり)

大型車両が可能か？ 他地区からの応援は可能か？

7月25日(火)

8:00~

広面鬼頭街区公園仮置場の作業

協会車両10台+重機(ハサミ)2台+現場監督

(7月25日作業開始 7月28日に搬出完了)



7月26日(水)

11:00

協会打合せ(電話作戦)

広面近隣公園仮置場の車両人員手配

17:30

秋田市との打合せ

広面近隣公園の作業について打合せ

(自衛隊は28日朝8時に撤収完了)

協会の作業開始7月28日→搬出作業完了8月8日



7月27日(木)
12:30

**環境副大臣が旧秋田空港跡地を視察
協会(JV4社)が現場の状況等を説明**



7月28日(金) 秋田市との打合せ

17:00

この日から、市の廃棄物対策課の産廃担当者が加わる。
秋田市から「処理方針」が示され、
協会からは「計画行程表」を提示した。

7月31日(月) 秋田市との打合せ

17:00

勝手仮置場からの運搬作業を協会にお願いできないか？
→持ち帰り検討。他の団体にも声かけてください。

8月1日(火)

15:15

秋田市との打合せ(追加要請)

勝手仮置場の状況が説明され、勝手仮置場からの搬出作業の依頼を受ける。

勝手仮置場29か所＋未回収分＝11,650トン

8月2日(水)

16:00

秋田市と4団体の打合せ(勝手仮置場の撤去)

建設業協会、トラック協会、解体業協会、当協会の4団体が一堂に会し、勝手仮置場の作業について打合せを行った。

- ・4団体とも協力する(車両、作業員)
- ・経費面での管理調整役を産業廃棄物協会が担う
- ・8月7日から開始する。(明日現地調査)
(最終的には8月20日頃まで実施した。)



振り返りと課題

◎経験が必要(早い判断)

初動として何をやるのか、何からやるのか(特に、仮置場の設置、運営管理)
→ 被災地視察、実地訓練などによる人材育成が必要と思います。

◎仮置場の積込み作業にはマンパワーが必要

「もっと早く」、「明日にでもやってくれ」と要望等が入ります。
→ 協会各社は、車両・重機はある程度確保できるが、積込作業には、
住民、ボランティア、行政の方々のマンパワーも必要でした。

◎民間各団体の役割分担を明確に

いろいろな団体・業界に、個別に声掛けされていたようだが、、
→ 最初から、各団体の役割を決めていただければよかったです。

◎便乗ゴミ、事業系ゴミ、産業廃棄物が多くありました

→ 事前に広報誌等で周知、受付で毅然とお断り、自治会の協力などにより
便乗ゴミ等が減らせると思います。

◎仮置場の設置場所 これではよかったのか・・・

→ 使用期間、車両出入り、重機の使用、地盤、二次災害などを
考慮した場所の選定が必要と思います。